

平成29年度第5回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 平成29年（2017年）11月2日（木） 午前10時00分～同11時00分

(2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室1A

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員

徳尾野部会長、岩井委員、三谷委員、妹背委員

・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）

増田部長、吉長課長、志村係長、浜崎職員

・事業者

議事① 設計者 株式会社大林組

代理者 株式会社アーキダム

(4) 議 事

議事① 医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院増改築工事

(5) 傍聴者

議事① なし

2. 会議の要旨

事務局： 本日の審議会（部会）は、委員4名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長： 了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、三谷委員と妹背委員です。

会 長： 景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいますか。

事務局： 傍聴者はいません。

☆☆☆★ 医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院増改築工事 ★☆☆☆

会 長： 今回の事業計画で景観上特に配慮された部分について説明してください。

事業者： ・ 既存棟は2008年に竣工し、病床数162床のリハビリテーション専門の病院で、治療に専念できるような明るい病院づくりを目指しています。

- ・ 増築棟は既存建物のデザインの特徴となっているコンクリートの水平ラインを取り入れ、既存棟と同じレベルに水平ラインを設けたデザインとしています。
- ・ 増築棟の壁面の出隅部分は、既存棟の両側に向けられたガラスの開放的なデザインを踏襲し、コーナー窓を設置しています。
- ・ 外壁は既存建物と同調するようタイル貼り、もしくは吹付塗装を考えています。
- ・ 西側の近隣の住居に近い配置計画となるため、建物高さを抑え、周辺に圧迫感を与えないよう配慮しました。
- ・ 1階は現状の駐車台数を極力減らさないようピロティーとし、植栽は現状のまま維持する計画です。

会 長： では、委員よりご意見やご質問があればお願いします。

委 員： 近隣説明は、現在どのような状況ですか。

設計者： 近隣説明は個別訪問により対応し、説明済みです。その中で2件の要望が出ていますので、後日個別に説明に行く予定です。宝塚市の条例では敷地境界から15mの範囲の近隣説明と重点的に行うよう決まっていますので、設計図面を持参して一軒ずつ個別に訪問し説明させていただきました。

委 員： 増築棟の屋上は人が出て使用される予定ですか。

設計者： 検討段階ですが、リハビリ訓練ができる機能を屋上に追加しようと考えています。その場合には、屋上からの視線についての配慮が必要だと考えており、それらの対処も含めて検討中です。

委 員： 近隣住民の側からすると、屋上に出ている人からの視線が一番気になる点だと思います。もしリハビリの一環で屋上を利用されるのであれば、物理的に遮蔽するなどの対策が必要だと思いますので、よく検討してください。

設計者： 検討します。近隣への影響については、施主も設計当初から気にされており、建物高さも当初検討していた3階建てから2階建てに抑えました。また、屋上の利用は、リハビリに利用したい思いもありましたが、近隣への影響を考慮し、この場所をリハビリに使用することはやめ、休憩の時に少し外の空気を吸う程度に利用する予定です。屋上を利用する場合には、近隣への視線を

遮蔽するものを設計者として提案したいと思っています。

会 長： もし目線を遮蔽するために塀などを設けるのであれば、景観に配慮したものとし、背の高い目隠し塀は避けてください。

設計者： わかりました。

委 員： 建物は高さを抑え、周囲環境へ配慮されているのは解りますが、既設のC B塀は現況のまま残るのですか。今回の計画で駐車台数が少し減り、出入口付近に空間が生まれましたので、この辺りを工夫して西側の植栽帯と同じように緑化していただきたいと思います。また、道路を歩く人の目線で見ると、3mもの高さの塀は、とても圧迫感を感じます。C B塀の上部を数段撤去し、低くすることはできませんか。南西の角の既存塀は、腰壁とアルミの目隠しで構成されていますので、他のC B塀も既存の腰壁の高さに合わせて上部を撤去し、低くすることで内部の植栽も見え、建物全体が優しく見えると思います。塀の改修は設計者の一存では決められないと思いますので、施主ともよく協議していただきたいと思います。

委 員： 1階は駐車場になっていますので、塀を全て撤去してしまうと駐車車両が道路から見えることになります。塀を撤去されるのであれば道路沿いの植栽を厚くしていただく必要があります。しかし、近隣の方の中には、これまで通り病院の建物が見えない方が良い方もおられると思いますので、上部を撤去し、低くすることでも良いと思います。もしも、塀を改修して低くするのも難しいのであれば、塗装等で美装化していただくだけでも今よりは良くなりますので検討してください。既存のまま味気なく古びた状態ですと、直近に新しい建物が増築されると、コントラストで余計に古びた印象が際立つので、何かしらの解決策を検討していただきたいと思います。

会 長： この塀はいつからあるものですか。

設計者： この病院ができる前からあったものです。

委 員： 古いもののようですが、構造上の安全性は確認できていますか。現況のまま残されるのであれば、構造も確認された方が良いと思います。

設計者： 施工された年代や構造なども確認した上で、塀の美創について施主と相談

したいと思います。改修時期については、今すぐできるかわかりませんが、行政からも指導があったことを施主へ申し伝えます。

委員： 建物については周囲への配慮が感じられますが、この塀は周囲への配慮が足りないように思いますので、是非検討してください。

委員： 外壁は吹付塗装とし、既存棟と合わせるとのことですが、具体的にどのような質感になるのですか。

設計者： 既存棟は南面はタイル貼りですが、北面や西面の北よりの部分はタイルと同色の吹付塗装です。増築部分は、既存棟の吹付部分と同じ色彩で仕上げる計画です。

委員： 庇がないので、雨などにより外壁が汚れやすいと思います。できれば、汚れにくい塗料などを選んでいただくようお願いします。

設計者： 庇はありませんが、ALC版の上部に取り付ける金物で水を切るように工夫したり、吹付材料も光触媒なども含めて提案しているところです。

委員： 平面的なデザインなので、サッシやALC版などの細かい納まりがデザインのポイントになると思います。よく検討してください。

会長： 建物については大きな問題はないと思いますが、外構についてはもう少し検討していただきたいと思います。既存塀と増築建物とが極端なコントラストがついて浮いてしまうことの無いように配慮をお願いします。既存塀は景観上あまり良いものではありませんので、この機会に是非改善をお願いします。では、これで協議を終了します。